令和元年　９月　定例教育委員会　　会議録

１　日　　時　　令和元年　９月２５日（水）　　開会　１５時００分　　閉会　１５時３８分

２　場　　所　　福井市役所８階第３委員会室

３　出 席 者　　教 育 長　　吉川　雄二
教育長職務代理者　　佐藤　藤枝
教育委員　　木村　敦子
教育委員　　春木　伸一
教育委員　　多田　和博
＜事務局職員＞
教育部長　　内田　弥昭
少年対策参事官　　谷口　敏英
教育次長　　向井　成人
副理事　　桑原　浩明
（生涯学習課長事務取扱）
図書館統括館長　　松浦　茂一
教育総務課長　　馬來田　善準
学校教育課長　　氣谷　達郎
保健給食課長　　坂井　小由里
青少年課長　　松田　玲子
スポーツ課長　　石井　　穣
文化財保護課長　　天谷　賢一
図書館長　　中野　裕三
桜木図書館長　　田畑　裕嗣
みどり図書館長　　橋詰　　豊
調整参事　　黒川　忠興
教育総務課　副課長　　前川　昌司
教育総務課　課長補佐　　吉川　貴大
教育総務課　主幹　　吉田　浩一
教育総務課　副主幹　　織田　久美子

４　議　　題

議　案

第２４号議案　福井市社会教育功労者表彰について

報　告

（１）幼児教育・保育料無償化の実施に伴う市立幼稚園の給食費について

５　議事の経過

（１）開会、教育長あいさつ
（２）会議録署名委員の指名　　木村　敦子 委員　　春木　伸一 委員
（３）議事の要旨

吉川教育長	まず、第２４号議案　福井市社会教育功労者表彰については、事務執行上、非公開を要する案件なので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１４条第７項の規定により、会議を非公開としたいが、御異議ないか。 ―　異議なしの声　―
吉川教育長	異議なしとのことなので、第２４号議案は非公開とし、後ほどの審議とする。
吉川教育長	次に報告事項に移る。 まず、報告（１）幼児教育・保育料無償化の実施に伴う市立幼稚園の給食費について、事務局から説明を求める。
事務局 （保健給食課長）	本年１０月からの消費税増税分の財源を活用した施策のひとつとして、３歳から５歳児の保育料無償化があるが、これに関連して給食費の取り扱いについて説明する。 保育料無償化後も、原則、給食費は負担していただくことになるが、年収３６０万円未満の世帯及び第３子以降については、おかずや牛乳といった副食費が免除される。
吉川教育長	ただ今の報告について、何か質問等はないか。
春木委員	１ヶ月あたりの給食費はいくらになるのか。
事務局 （保健給食課長）	１ヶ月を２０日として４,８４０円の負担となる。
吉川教育長	他に何かないか。 ―　特に意見なし　―
吉川教育長	次に、先ほど非公開とした案件の審議を行う。 （第２４号議案の審議については、結果も含め非公開）
吉川教育長	予定していた審議事項は以上であるが、他に何かあるか。

事務局 （保健給食課長）	９月１９日（木）に福井県営陸上競技場で開催した福井市小学校連合体育大会には、教育委員の皆様をはじめ、多くの方に応援に来ていただき感謝申し上げる。当日は特にトラブル等もなく、無事全種目を終えることができた。大会結果については、後日改めて報告する。
事務局 （学校教育課長）	今年度の小中学校卒業式の日程であるが、中学校及び併設校については令和２年３月１２日、小学校については３月１３日に開催予定である。教育委員の皆様には御出席いただくようお願い申し上げる。 二点目、お手元に７月２６日に実施した、福井市学校規模適正化検討委員会の議事録を配布したので御確認いただきたい。
事務局 （桜木図書館長）	お手元に作家講演会のご案内を配布させていただいた。桜木図書館では毎年、市民の読書振興を図るため、作家講演会を実施しているが、今年は同級生作家が語る福井愛ということで、「酔象の流儀」を書かれた赤神諒氏と、「おしょりん」を書かれた藤岡陽子氏の２名をお招きし、講演会を開催する。開催日は１１月３日（日）１４時から、場所は桜木図書館で開催するので、教育委員の皆様には是非ご参加いただきたい。
事務局 （生涯学習課長）	お手元に社会教育功労者表彰式のご案内を配布させていただいた。日時は１０月２１日（月）１５時から、場所は企業局５階大ホールで開催するので御出席いただきたい。
吉川教育長	他に何かないか。
多田委員	即位礼正殿の議の日である１０月２２日は、学校は休みになるのか。
事務局 （学校教育課長）	学校は休みとなる。
多田委員	現在、市有施設の統廃合や売却の話があるが、新聞記事では、利用者の減少は市が必要な対応を取ってないからだという話であった。教育委員会として、一律に統廃合していくのか、それともこの建物は残していきたいという考えはあるのか。
事務局 （教育部長）	施設マネジメントについては、市議会でも審議いただいており、それを踏まえて市民の皆さんからもいろいろと御意見をいただいている。今の話は美山のテニスコートではないかと思うが、将来の人口減少時代を踏まえ、２０～３０年前にできた施設をこのまま維持するのではなく、置かれている状況や、民間の代替施設の有無等も踏まえ、ひとつひとつの施設を精査し、基本計画を立てて、議会や市民に説明をしているところである。 問題の美山のテニスコートについては、年間の利用者数が２,０００人程度で

あることと、他にもテニスコートがあることから、廃止とさせていただいたところである

吉川教育長　市全体の施設マネジメント計画の中で、精査した結果であるが、議会や市民の皆さんからのパブリックコメント等で、議論を深めていく必要はある。

事務局（教育部長）　すでに各施設の所管課が、施設利用者や地権者と協議を行なっているところであるが、方針が変わる可能性もある。

吉川教育長　時間がかかる内容なので、状況に変化があれば報告したい。

吉川教育長　他に何かないか。

春木委員　小学校に部活動はあるのか。

吉川教育長　スポーツ少年団はあるが、部活動はない。

春木委員　私の患者の１人で外部コーチの指導が厳しいため、精神を病んでしまい、辞めたいと申し出ても辞めさせてくれず、親が困っている。校長に相談しても学校外の問題なので、なかなか介入も出来ないので、子どもが一番困る。事務局ではこういった活動の状況を掴んでいるのか。

事務局（学校教育課長）　全国的に見ると、小学校で部活動のような活動を行っている地域もあるが、福井県内で部活動という考え方はない。一部の文化活動では昼休みの時間等を利用して練習し、発表会等に参加している学校はある。学校の外に出てしまうと、スポーツ少年団や算盤、習字の稽古事と同じで、どこの子がどこに行っているかということは把握していない。

春木委員　子ども一人ひとりではなくても、どの学校にどのような団体があるかは、把握しておいたほうがいいのではないか。

春木委員　スクールロイヤーという話があるが、現在は何かあればその都度対応という形だが、市教委としては将来的に直接現場に入ってもらう考え方なのか。

吉川教育長　国ではスクールロイヤーを全国で３００名程度を考えているが、内容として現時点では学校現場に直接派遣することは考えていないようだ。本市の来年度の予算要求の中で、スクールロイヤー的なものができないか考えているところである。

春木委員　県教委はどのように考えているのか。

吉川教育長	国の様子を見て考えるようだ。
事務局 （教育部長）	現在、本市でお願いしている顧問弁護士は、国が考えているスクールロイヤーの業務に近い仕事をやってくれている。
吉川教育長	顧問弁護士には何かあれば相談に乗ってもらっており、その際の料金は、市の顧問弁護士料で賄えているが、いざ学校現場となると別料金となる。来年度はそのあたりの予算を確保していきたいと考えている。
春木委員	不登校の子ども達のオルタナティブ教育について、現在はフリースクールなど学校教育も広がりを見せているが、市教委はどのように考えているのか。
吉川教育長	今はフリースクールのようなところに通っている子どもはいないが、私が学校教育課長のときに、県外のフリースクールに通わせたいといって認めたケースはあった。市教委としても、子ども本人や保護者が希望すれば認めていく。
吉川教育長	他に何かないか。 ―　特に意見なし　―
吉川教育長	最後に事務局から次回の日程についてお願いする。
事務局 （教育総務課課長補佐）	次回の定例教育委員会について、１０月３０日（水）１５時から、場所は福井市役所８階第１委員会室にて開催するので、御出席いただきたい。
吉川教育長	以上をもって会議を終了する。

令和元年１０月３０日

署名委員　　木村　敦子

署名委員　　春木　伸一

会議録作成職員　　吉田　浩一